

令和 3年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00132)

事務事業名称	老人ホームの入所	款	04	項	01	目	02	事業	001	整理番号	149
現担当課名	高齢者在宅支援課	係名	施設入所係					連絡先電話番号	3253	昨年度整理番号	147
上位施策No・施策名	15 要介護高齢者の住まいと介護施設の整備							予算事業区分	既定事業		
事業開始											
令和 2年度担当課名	高齢者在宅支援課							事業評価区分	一般		

令和 2年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	原則65歳以上の高齢者で、養護老人ホーム及び特別養護老人ホームの入所措置が必要な区民、及び特別養護老人ホームの入所を希望する区民。	根拠法令等	(1) 老人福祉法第6条、11条、21条 (2) 杉並区老人福祉法施行細則
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	要援護高齢者の養護老人ホーム・特別養護老人ホームへの入所措置により、経済上、環境上の日常生活の安定や高齢者の虐待防止と権利を保護することができる。入所申込者の優先度評価を行うことで必要性の高い高齢者から特別養護老人ホームに入所することができる。	活動指標	養護老人ホーム措置入所者数 特別養護老人ホーム入所者数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	要援護高齢者の実態を把握し、区入所判定委員会で措置入所の要否を判定し、養護老人ホーム等へ入所措置する。特別養護老人ホーム入所申込者について協力施設の委託を受けて入所指針に基づき優先度第一次評価を実施し、その結果を施設と申込者に通知する。協力施設において第二次評価を行い、入所者を決定する。	指標説明	養護老人ホーム待機者に占める措置入所者の割合 当該年度措置者数 ÷ (前年度末待機者数 + 当該年度新規申請者数) 特別養護老人ホーム入所希望者 (優先度A) に占める入所者の割合 当該年度入所者数 ÷ 前年度末優先度A入所希望者数

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 人	123	120	121	120	115	120	95.8	96.5	
活動指標 (2)	2 人	639	400	683	400	531	400	132.8		
成果指標 (1)	3 %	90	80	114	80	80	80	100.0		
成果指標 (2)	4 %	119	60	150	60	124	60	206.7		
事業費	5 千円	237,560	262,325	254,484	248,487	239,691	252,958	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7 千円	1,267	1,422	1,400	1,315	1,170	1,299			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	5.05	4.12	4.07	4.12	4.11	5.50		
	上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.00		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	42,551	34,715	35,482	35,918	34,947	46,767		
	上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	3,628	3,628		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	280,111	297,040	289,966	284,405	278,266	303,353			
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	2,277,325	2,475,333	2,396,413	2,370,042	2,419,704	2,527,942			
財源	受益者負担分	14 千円	38,109	35,859	45,751	41,319	41,515	38,129		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	38,109	35,859	45,751	41,319	41,515	38,129		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	242,002	261,181	244,215	243,086	236,751	265,224			
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	13.6	12.1	15.8	14.5	14.9	12.6			

令和 3年度杉並区事務事業評価表（2）

令和 2年度 事業実施状況（D o）

整理番号 149

	内 容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	養護老人ホーム委託措置	1,371	人	237,134
	特別養護老人ホーム委託措置	6	人	1,037
	養護老人ホーム措置費支払事務委託			672
	その他（措置事務費、移送費、特別養護老人ホーム入所調整事務費ほか）			848
事業実績	<p>養護老人ホーム21施設に延べ1,371人を入所措置しています。令和2年度中、新規入所者は12人、退所者は18人でした。令和2年度末の措置入所者は115人です。また、特別養護老人ホーム3施設に延べ6人を入所措置しました。</p> <p>特別養護老人ホームへ新規入所申請及び更新申請に関し、1,377件の第一次評価を行い通知しました。（辞退や介護度変更による通知も含まれます。）</p>			

令和 2年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	<p>養護老人ホームは、入所者の心身機能や知識経験を十分に発揮できるよう、スタッフが見守りながら自立した生活を送る支援をしています。しかし、入所後、高齢化や心身状態の低下に伴い、介護サービスを必要とする入所者や、他の介護施設に移る方も増加しています。</p> <p>特別養護老人ホームは、平成15年度に杉並区入所指針を策定してから、改定を重ね、優先度の高い高齢者が入所できるようになりました。また、新規施設の開設に伴い、待機者は年々減少傾向にあります。また、緊急性の高い高齢者がより早く確実に入所できるよう入所指針の改定をし、令和2年4月から新しい指針での運用を始めています。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>区民の5人に一人が65歳以上の高齢者になり、単身や高齢者のみの世帯の割合も増えることが予測されます。また、病気や身体的な不自由を感じている高齢者も増加しているため、特別養護老人ホームの入所希望や、養護老人ホームの入所措置が今後も増加すると考えます。</p> <p>介護者の状態については、介護する側が高齢でかつ病気を抱えている方も多く、また就労等により在宅介護が非常に難しい状況で、施設入所を早急に希望する方も増加すると考えられます。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>養護老人ホームへの入所措置は、減少することは見込まれない状況です。また、虐待や立ち退き等の緊急措置についても迅速な対応で入所措置を行う必要があります。</p> <p>特別養護老人ホームについては、新規施設開設に伴い待機者は年々減少傾向ではありますが、緊急性の高い高齢者がより早く確実に入所できるよう、入所状況の検証・分析をしていくことが求められます。</p>
評価と課題	<p>養護老人ホームへの入所措置により、虐待・立ち退き等の緊急措置が必要な方を含め、自立した高齢者の生活の安定が図れました。また、入所後もご本人の事情や生活面の対応を求められるケースが増えていることから、入所後の様子の把握に努めていきます。</p> <p>特別養護老人ホームへの入所措置は、緊急で保護をし虐待防止と権利を保護することができました。今後も必要な方に速やかに入所措置を実施できるよう、在宅医療・生活支援センターと連携を図っていきます。また、区内新規施設1か所の開設があったこともあり、平均待機期間は6か月になりました。今後は、特別養護老人ホームの整備計画の策定材料となるよう、特別養護老人ホームの入所状況等の検証・分析を行っていきます。</p>

令和 4年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	<p>養護老人ホームの入所相談は、高齢者人口の増加に伴い増加傾向ですが、事業規模は現状を維持していきます。</p> <p>特別養護老人ホームは、令和3年度に区内新規開設が1か所予定されており、さらにエクレスイア南伊豆の特養についても、区民にわかりやすい案内に努め、優先度の高い高齢者の早期入所を促進します。今後は、令和6年度以降の特別養護老人ホームの整備計画に反映できるよう、待機者の実態把握・分析に努めていきます。</p>	

令和 3年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00133)

事務事業名称	認知症高齢者グループホーム施設管理	款	04	項	01	目	02	事業	002	整理番号	150	
現担当課名	高齢者施策課	係名	施設整備推進担当係			連絡先電話番号	3282		昨年度整理番号	148		
上位施策No・施策名	15 要介護高齢者の住まいと介護施設の整備					予算事業区分	既定事業					
事業開始	平成20年度											
令和 2年度担当課名	高齢者施策課					事業評価区分	施設維持管理					

令和 2年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	区施設に設置されたグループホーム及びその運営事業者	根拠法令等	(1) 介護保険法第8条第20項 (2) 消防法
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	高齢者グループホームの利用者が快適に利用・適切に運営できるよう、施設の維持管理を行う。	活動指標	入所者1人あたりの維持管理負担費
		指標名 (1)	
		指標説明	
		指標名 (2)	
		指標説明	
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	害虫駆除、消防設備保守点検、建築設備点検等を委託により実施する。 その他必要に応じて施設の維持管理を行う。	成果指標	
		指標名 (1)	
		指標説明	
		指標名 (2)	
		指標説明	

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 千円	11	11	11	56	55	0	98.2	90.2
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3								
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	100	102	102	611	551	123	特記事項	
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	施設の老朽化に伴い修繕頻度が増したことから令和2年度は当初予算にて一定の金額を計上していましたが、令和3年度は予算編成方針上都度流用または補正対応とすることとなったため、事業費が減少しています。	
(内) 委託費	7 千円	100	102	102	111	111	123		
職員数	8 人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10		
上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	10 千円	843	843	872	872	850	850		
上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	943	945	974	1,483	1,401	973		
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13 円	85,727	85,909	88,545	26,482	25,473	0		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0	0	
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	943	945	974	1,483	1,401	973		
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

令和 3年度杉並区事務事業評価表（ 2 ）

令和 2年度 事業実施状況（ D o ）

整理番号 150

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	本天沼グループホーム施設の建物保守点検委託		1	所
	グループホームなごみ高井戸和室空調機修繕	1	式	363
	シャローム本天沼配管シーリング修繕	1	式	77
	その他（ ）			
事業実績	グループホームなごみ高井戸（高井戸西二丁目）和室系統の空調機器が経年劣化により故障したため、これの修繕を行いました。また、本天沼グループホーム施設の維持管理のため、害虫駆除、消防設備保守点検、建物設備点検等を行いました。			

令和 2年度 評価と課題（ C h e c k ）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	
評価と課題	<p>昨年度と同様、経常的な施設の維持管理については、建物設備保守点検等を行い、必要に応じた修繕を行う等適切に管理ができています。</p> <p>令和2年度は1所（高井戸西二丁目 なごみ高井戸）にて、開設当時から使用した和室系統のエアコンの取り替え修理を行いました。令和3年度以降も同様に経年劣化による修繕は発生すると考えられるため、施設側とも連絡を取り合い、引き続き建物の維持管理を適切に行います。</p>

令和 4年度の方針（ A c t i o n ）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	<p>建物の経年劣化に伴い区が実施すべき修繕が増加しているため、令和2年度より当初予算から必要経費を計上しています。</p> <p>令和4年度以降も修繕については同様の傾向が続くと考えられるため、過去の実績などから必要な経費を見積もり、適切に施設維持管理を進めることで、施設の長寿命化を図ります。</p>	

令和 3年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00134)

事務事業名称	介護強化型ケアハウス施設管理			款	04	項	01	目	02	事業	004	整理番号	151
現担当課名	高齢者施策課		係名	施設整備推進担当係			連絡先電話番号	3282		昨年度整理番号	149		
上位施策No・施策名	15 要介護高齢者の住まいと介護施設の整備							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成14年度												
令和 2年度担当課名	高齢者施策課							事業評価区分	施設維持管理				

令和 2年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	特別養護老人ホーム等に入所を希望している要介護高齢者で、比較的介護度の低い方とその家族	根拠法令等 (1) 民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律 (2) 老人福祉法第20条の6
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	家庭での介護が困難な要介護高齢者が介護強化型ケアハウスに入所し、必要な介護が受けられるようにする。介護家族の負担を軽減する。	活動指標 指標名 (1) 施設整備定員数 (累計) 指標説明 指標名 (2)
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	民間事業者の資金や能力を活用したPFIの手法により整備した施設を、区が選定した事業者が運営・管理し、適切な介護サービスを区民に提供する。	成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 人	110	110	110	110	110	110	100.0	99.3
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3								
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	7,881	31,329	9,945	32,212	31,979	10,081	特記事項	
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和元年度から延期となっていたケアハウス今川ナースコール・電話設備工事を実施したため、例年より事業費が大幅に増えています。(令和元年度 令和2年度繰り越し額15,650千円)	
(内) 委託費	7 千円	292	21,846	462	17,179	17,178	3,215		
職員数	8 人	0.10	0.10	0.20	0.20	0.20	0.20		
上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	10 千円	843	843	1,744	1,744	1,701	1,701		
上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	8,724	32,172	11,689	33,956	33,680	11,782		
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	79,309	292,473	106,264	308,691	306,182	107,109		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0	0	
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	8,724	32,172	11,689	33,956	33,680	11,782		
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

令和 3年度杉並区事務事業評価表（2）

令和 2年度 事業実施状況（D o）

整理番号 151

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	ケアハウス今川 ナースコール・電話設備改修		1	式
	介護強化型ケアハウスの介護ベッド等の購入	20	台	5,790
	介護強化型ケアハウス機械浴槽の購入	1	台	3,300
	介護強化型ケアハウスのエアコン取り替え修理等	11	所	2,522
	その他（介護強化型ケアハウス電気温水器取り替え修理等）			4,717
事業実績	<p>ケアハウス今川において、居室ナースコール設備の改修工事を実施したほか、施設の昇降機及び建築設備定期点検などを実施するとともに、ベネッセケアハウス今川及びニチイケアハウス井草両施設で耐用年数の経過した介護ベッドの入れ替え作業や、居室用エアコン・電気温水器等の取替修理を行いました。</p>			

令和 2年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	
評価と課題	<p>比較的要介護度の低い高齢者の受け皿として、高齢者の住まいの選択肢を広げているこの施設の果たす役割は大きいものがあります。また、P F I 事業として実施することにより、民間事業者の活力等を導入し、施設を整備してきました。経常的な施設の維持管理については、コロナ禍により修繕等のスケジュールに影響がでたケースもありましたが、建物等定期検査を実施の上、必要に応じて修繕を行う等適切に管理ができています。</p> <p>今後も建物の築年数の経過に伴い修繕の増加が予想されます。適切に管理するためにも、計画的に修繕等を行い、極力入居者の生活に影響が生じないようにしていく必要があります。</p>

令和 4年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）・実施主体の見直し
予算の方向性の理由・内容	<p>建物の経年劣化に伴い修繕等が徐々に増加しています。令和3年度についても、令和2年度と同様に過去の実績を基に予算の増額措置をしました。令和4年度以降についても同様に修繕の増加が見込まれるため、適切に予算を計上し、施設の維持管理に努めます。</p>	

令和 3年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00135)

事務事業名称	介護老人保健施設用地管理			款	04	項	01	目	02	事業	005	整理番号	152
現担当課名	高齢者施策課		係名	施設整備推進担当係			連絡先電話番号	3282		昨年度整理番号	150		
上位施策No・施策名	15 要介護高齢者の住まいと介護施設の整備							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成14年度												
令和 2年度担当課名	高齢者施策課							事業評価区分	施設維持管理				

令和 2年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	要介護高齢者とその家族	根拠法令等	(1) 介護保険法第8条第25項 (2) 借地借家法第22条
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	リハビリテーション、看護、介護等の医療ケアと日常生活上のサービスを併せて提供することにより、高齢者の自立を支援し、家庭復帰と在宅ケアを目指すことができるようにする。	活動指標	用地確保のための賃貸借件数 区内老人保健施設整備床数 (累計)
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	独立行政法人都市再生機構が所有する敷地 (桃井三丁目) を、区が一般定期借地権設定契約により賃借し、介護老人保健施設シダ・ウォークの運営を行う社会医療法人河北医療財団に転貸する。	指標説明	
		成果指標	
		指標名 (1)	
		指標説明	
		指標名 (2)	
		指標説明	

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 所	1	1	1	1	1	1	100.0	100.0
活動指標 (2)	2 床	418	418	418	418	418	418	100.0	
成果指標 (1)	3								
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	23,713	23,864	23,864	23,864	23,864	23,864		特記事項
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0		
(内) 委託費	7 千円	0	0	0	0	0	0		
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	上記以外の職員	9 人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	843	843	872	872	850	850	
	上記以外の職員	11 千円	309	309	308	308	363	0	
総事業費 (5+10+11)	12 千円	24,865	25,016	25,044	25,044	25,077	24,714		
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13 円	24,865,000	25,016,000	25,044,000	25,044,000	25,077,000	24,714,000		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0	
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0	
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0	0	
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	24,865	25,016	25,044	25,044	25,077	24,714		
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

令和 3年度杉並区事務事業評価表（2）

令和 2年度 事業実施状況（D o）

整理番号 152

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	介護老人保健施設敷地転貸借		1	所
	その他（ ）			
事業実績	契約書に基づき、独立行政法人都市再生機構の所有地を社会医療法人河北医療財団に転貸借しました。			

令和 2年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	
評価と課題	一般定期借地権設定により、事業者は介護老人保健施設の安定的な運営が可能となっています。区は、50年間にわたる土地の転貸借の事務処理を的確に行っていきます。

令和 4年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	令和4年度も引き続き、契約書に基づき、独立行政法人都市再生機構の所有地を社会医療法人河北医療財団に転貸借し、施設の安定的な運営を支えていきます。	

令和 3年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00137)

事務事業名称	高齢者保健福祉施策の推進				款	04	項	01	目	02	事業	006	整理番号	154	
現担当課名	高齢者施策課		係名	施設整備推進担当係		連絡先電話番号	3282		昨年度整理番号	152					
上位施策No・施策名	15 要介護高齢者の住まいと介護施設の整備								予算事業区分	既定事業					
事業開始	平成23年度	実行計画事業	目標	04	施策	15	計画事業	01	主要事業 (区政経営報告書掲載事業)						
令和 2年度担当課名	高齢者施策課								事業評価区分	一般					

令和 2年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	特別養護老人ホーム等に入所を希望している高齢者及びその家族 介護事業者	根拠法令等 (1) 老人福祉法 (2) 介護保険法
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	介護が必要な高齢者が、必要に応じて特別養護老人ホームに入所し適切な介護が受けられるようする。 要介護者の施設入所により、家族の介護負担が軽減されるようにする。 介護現場における職員の負担軽減と作業効率の向上を図るため、事業者の介護ロボット導入を支援する。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	○南伊豆町との自治体間連携による特別養護老人ホームについて、南伊豆町及び運営事業者との連携のもと、円滑な区民の入居を図る。 ○入居後の生活について、入居者や家族に満足してもらえよう、事業者による運営を支援する。 区内施設において介護ロボットの導入に係る経費を助成する。	成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明
		介護ロボット導入台数 (累計) 具体化した自治体間連携による特別養護老人ホームの件数 介護ロボット導入により負担軽減があった施設数の割合 区内特別養護老人ホーム及び認知症高齢者グループホーム数に対する介護ロボットを導入した延べ施設数の割合

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1								37.8
活動指標 (2)	2 台	18	28	30	38	36	48	94.7	
成果指標 (1)	3 件	1	1	1	1	1	1	100.0	
成果指標 (2)	4	0.13	0.17	0.19	0.24	0.22	0.35	91.7	
事業費	5 千円	617	4,087	3,293	4,010	1,517	0	特記事項	
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりエクレシア南伊豆の周知事業のほとんどが中止となったことから、配布用チラシ印刷請負が大幅に残となっています。また、同じくエクレシア南伊豆への出張も自粛となり大幅に減少したため、旅費が残となっています。	
(内) 委託費	7 千円	37	0	0	0	0	0		
職員数	8 人	0.44	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50		
上記以外の職員	9 人	0.00	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00		
人件費	10 千円	3,707	4,213	4,359	4,359	4,252	4,252		
上記以外の職員	11 千円	0	309	308	308	363	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	4,324	8,609	7,960	8,677	6,132	4,252		
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	0	0	0	0	0	0		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0	0	
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	4,324	8,609	7,960	8,677	6,132	4,252		
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

令和 3年度杉並区事務事業評価表（2）

令和 2年度 事業実施状況（D o）

整理番号 154

	内 容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	関係自治体等との協議・検討のための出張旅費の支給	4	回	4
	高齢者インフルエンザ予防接種業務委託	1	所	143
	介護ロボット導入経費補助金の支出	2	所	1,318
	その他（消耗品等の購入）			52
事業実績	<p>南伊豆町との自治体間連携による特別養護老人ホーム「エクレシア南伊豆」の運営にあたり、杉並区民の入居状況や家族との連携などについて南伊豆町及び運営法人と協議を行いました。また、予防接種費用は、地元負担分及び季節性インフルエンザについて自己負担分も含めて区が負担しました。その他、介護現場における職員の負担軽減と作業効率の向上を図るため、区内介護事業所2所に対し計6台分の介護ロボットの導入経費補助を行いました。</p>			

令和 2年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	<p>全国初となる自治体間連携による特別養護老人ホーム「エクレシア南伊豆」を南伊豆町に平成30年3月に開設しました。施設に対する満足度調査を区民入居者及び家族に向けて実施した結果、高い評価を得ています。</p> <p>介護事業所における職員の充足状況については、平成30年度介護労働実態調査によれば67.2%の事業所が職員の不足を訴えている状況です。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>平成30年3月に開設したエクレシア南伊豆は、令和3年3月31日時点の杉並区民の入居者は計37名（定員50名）となっています。引き続き区民等への周知を行うとともに、入居者が安心して暮らせるよう、区、静岡県、南伊豆町及び事業者が連携して継続的な支援を実施していきます。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>整備計画に基づく目標値は順調におおむね達成しているところ、介護ロボットについてはコロナ禍の影響によりロボットの導入を見送る事業者が多かったことから予定よりも少ない導入台数となっています。</p>
評価と課題	<p>令和2年度は、入居希望者やケアマネを対象としたバスツアー等、一部の周知イベントが実施見送りになる等、コロナ禍による影響が非常に大きく、これまでと同様の周知活動が難しい年となりました。一方で、阿佐ヶ谷七夕祭を模した張りぼての展示やオンライン演奏等、感染リスクの少ない取組については実施することができました。当面の間、コロナ禍の影響は続くと考えられることから、新しい生活様式に適合した支援方法としてVRによる施設見学等ICTの活用を検討していきます。</p> <p>介護ロボットの導入については、区内介護事業所2所に計6台分の導入を支援することができました。導入された介護ロボットが効果的に活用されているか検証を行うとともに、事業者がより利用しやすいよう補助スキームを検討していきます。</p>

令和 4年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	<p>エクレシア南伊豆の入居者が安心して生活できるよう、また、全国初の取組として区が責任を持って進めて行くため、引き続き南伊豆町や関係機関と連携して事業者の安定した運営を支援していきます。</p> <p>介護ロボットの導入についても、コロナ禍の影響で一層増えた介護現場の負担軽減に不可欠であることから、着実に導入を進めていきます。</p>	

令和 3年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00228)

事務事業名称	特別養護老人ホーム等の建設助成				款 04 項 01 目 07 事業 001	整理番号	234	
現担当課名	高齢者施策課	係名	施設整備推進担当係		連絡先電話番号	3282	昨年度整理番号	233
上位施策No・施策名	15 要介護高齢者の住まいと介護施設の整備				予算事業区分	既定事業		
事業開始	昭和60年度	実行計画事業	目標 04	施策 15	計画事業 01	主要事業 (区政経営報告書掲載事業)		
令和 2年度担当課名	高齢者施策課				事業評価区分	一般		

令和 2年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	特別養護老人ホーム等の高齢者入所施設を建設・運営する社会福祉法人	根拠法令等	(1) 社会福祉法第58条 (2) 社会福祉法人に対する助成の手続きに関する条例及び同施行規則
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	介護が必要な高齢者が、必要に応じて特別養護老人ホームに入所し、適切な介護が受けられるようにする。要介護者の施設入所により、家族の介護負担が軽減されるようにする。	活動指標	区内特別養護老人ホーム施設数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	特別養護老人ホーム等の高齢者入所施設を区内に建設する社会福祉法人に対して建設費の助成及び独立行政法人福祉医療機構借入金の償還助成を行う。特別養護老人ホームを建設・運営する社会福祉法人に対し、円滑な施設の開設を支援するために、開設準備に要する経費の一部助成を行う。	指標名 (1)	区内特別養護老人ホーム施設数
		指標説明	
		指標名 (2)	特別養護老人ホーム確保定員
		指標説明	杉並区民が優先的に入所可能な定員数
		指標名 (2)	区内特別養護老人ホーム整備率
		指標説明	区内特別養護老人ホーム定員数を高齢者人口で除した割合

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 所	19	21	21	22	22	23	100.0	99.8
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3 人	1,963	2,136	2,136	2,220	2,220	2,400	100.0	
成果指標 (2)	4 %	1.43	1.55	1.57	1.61	1.68	1.82	104.3	
事業費	5 千円	652,028	601,551	561,775	626,258	625,258	396,138	特記事項	
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	令和2年度は令和元年度に比べ補助対象施設数が減少しましたが、内最大級の規模となる天沼三丁目区有地特養の工事出来高が多かったため、事業費が増えています。(令和元年度：高井戸東三丁目60%、成田東五丁目97%、高円寺南五丁目40%、天沼三丁目1% 令和2年度：高円寺南五丁目60%、天沼三丁目64%)	
(内) 委託費	7 千円	0	0	0	0	0	0		
職員数	8 人	1.80	1.80	2.00	1.60	1.60	1.60		
上記以外の職員	9 人	0.10	0.15	0.15	0.15	0.15	0.00		
人件費	10 千円	15,167	15,167	17,436	13,949	13,605	13,605		
上記以外の職員	11 千円	309	463	462	462	544	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	667,504	617,181	579,673	640,669	639,407	409,743		
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	35,131,789	29,389,571	27,603,476	29,121,318	29,063,955	17,814,913		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	208,403	178,982	184,956	128,000	128,000		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	208,403	178,982	184,956	128,000	128,000	70,000	
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	459,101	438,199	394,717	512,669	511,407	339,743		
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

令和 3年度杉並区事務事業評価表（2）

令和 2年度 事業実施状況（D o）

整理番号 234

	内 容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	特別養護老人ホームの建設助成（償還助成）	9	所	153,338
	特別養護老人ホームの建設助成（整備費補助）	2	所	471,120
	特別養護老人ホーム開設準備経費補助	1	所	800
	その他（ ）			
事業実績	<p>独立行政法人福祉医療機構から建設費を借り入れた区内10施設の運営事業者に対し、償還の助成を行うとともに、高円寺南五丁目国有地及び天沼三丁目区有地（旧荻窪税務署跡地）に施設整備を進める事業者に対し、工事出来高に応じた建設費の助成を行いました。また、令和2年度に開設した施設1か所に対し、開設準備のための経費を助成しました</p>			

令和 2年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	<p>区内における高齢者人口は、昭和60年1月1日現在53,365人（10.2%）でしたが、令和3年1月1日現在は120,139人と増加し、今後もさらに増加すると見込まれています。</p> <p>一方で、特別養護老人ホームの施設入所希望者は平成24年度末では1,944人でしたが、施設整備が進んだこともあり、令和2年度末は645人と減少傾向にあります。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>令和3年12月に開設予定の、天沼三丁目（仮称）フェニックス杉並の完成をもって、緊急性の高い待機者は当面の間生じない見込みです。今後は申込者数等需要の動向を鑑みて、整備計画を立てていきます。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>順調に、計画どおり施設の整備を進めることができています。</p>
評価と課題	<p>令和2年11月に新たに1か所施設（プライムガーデンズ高円寺 定員84名）を開設し、平成24年度からの整備量は、通算913床になりました。また、天沼三丁目区有地（旧荻窪税務署跡地）を活用した特養整備計画も予定通り進めることができました。</p>

令和 4年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>既存施設に対する償還金助成を適切に行いつつ、令和3年度に実施する特養待機者需要推計の結果に基づき、必要に応じて今後の整備計画を検討していきます。</p>	

令和 3年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00229)

事務事業名称	認知症高齢者グループホームの建設助成				款 04 項 01 目 07 事業 002	整理番号	235	
現担当課名	高齢者施策課	係名	施設整備推進担当係		連絡先電話番号	3282	昨年度整理番号	234
上位施策No・施策名	15 要介護高齢者の住まいと介護施設の整備				予算事業区分	既定事業		
事業開始	平成14年度	実行計画事業	目標 04	施策 15	計画事業 02	主要事業 (区政経営報告書掲載事業)		
令和 2年度担当課名	高齢者施策課				事業評価区分	一般		

令和 2年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	認知症高齢者グループホームを建設・運営する民間企業、社会福祉法人及び土地所有者等	根拠法令等 (1) (2)	介護保険法第8条20項 東京都認知症高齢者グループホーム整備費補助要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	比較的安定状態にある認知症高齢者が少人数で共同生活を送り、家庭的な環境のもとで、入浴・排せつ・食事などの介護や日常生活の世話及び機能訓練などが受けられるようにする。 また、介護している家族の負担を軽減する。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	認知症高齢者グループホーム整備定員数 (累計)
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	民間企業、社会福祉法人及び土地所有者等が整備する認知症高齢者グループホームに対し整備費の一部を補助する。 認知症高齢者グループホームを建設・運営する民間事業者等に対し、円滑な施設の開設を支援するために、開設準備に要する経費の一部助成を行う。	成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	認知症高齢者グループホーム整備率 認知症高齢者グループホーム定員数を高齢者人口で除した割合

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 人	618	636	654	654	651	672	99.5	95.4
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3 %	0.47	0.50	0.54	0.54	0.54	0.55	100.0	
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	57,257	11,124	10,130	48,845	46,614	480	特記事項 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、簡易陰圧装置の整備補助を行ったことから前年より事業費が増となっています。	
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0		
(内) 委託費	7 千円	91	334	0	168	48	168		
職員数	8 人	0.80	0.70	0.73	0.70	0.70	0.70		
上記以外の職員	9 人	0.40	0.25	0.25	0.25	0.25	0.00		
人件費	10 千円	6,741	5,898	6,364	6,103	5,952	5,952		
上記以外の職員	11 千円	1,236	772	770	770	907	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	65,234	17,794	17,264	55,718	53,473	6,432		
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	105,557	27,978	26,398	85,196	82,140	9,571		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	10,126	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	56,528	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	56,528	0	10,126	0	0	0	
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	8,706	17,794	7,138	55,718	53,473	6,432		
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

令和 3年度杉並区事務事業評価表（2）

令和 2年度 事業実施状況（D o）

整理番号 235

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	認知症高齢者グループホーム簡易陰圧装置設置補助	1	所	46,566
選定委員会準備等	1	件	48	
	その他（ ）			

事業実績

宮前二丁目認知症高齢者グループホームに、新型コロナウイルス感染症対策として、簡易陰圧装置の設置に係る費用の一部を補助したほか、民間事業者からの整備計画提案を受け選定委員会を設置しました。

令和 2年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	区内における後期高齢者人口は、平成14年1月1日38,576人、令和3年1月1日64,182人、認知症高齢者は平成14年1月1日3,618人、令和3年1月時点の数字については、新型コロナウイルス感染症対応のため、要介護認定において一部臨時的な取り扱いをしたことから正確な認知症高齢者数が算出できませんが、令和2年1月1日時点では13,635人と増加の一途を辿っています。認定者数そのものは増加していることから、今後も認知症高齢者数が増え続けるものと考えます。
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	区内における後期高齢者人口は、年々増加すると予測されます。それに伴い認知症高齢者の増加も見込まれ、高齢者の状況に応じた各種サービスの需要が高まることが予想されます。
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	概ね目標は達成しているものの、コロナ禍の影響により人材の確保が困難として、区内高齢者GH1所が定員数を一時的に3名減としたため、実績としては減になっています。
評価と課題	民間事業者による区内での整備が進んできたため、令和2年度も引き続き地域バランスを勘案し、整備が進んでいない地域に限定して事業者の募集を行いました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、新規の整備には至りませんでした。 一方で、既存施設1所に対して、居室内のウイルスの流出防止に有効な、簡易陰圧装置の設置補助を行いました。 今後もコロナ禍の影響は続くと考えられるため、事業者の動向を注視しながら、新規施設の整備に係る建設助成の他、既存施設に対しても感染防止に係る補助事業について積極的に情報提供をする等適切に対応していきます。

令和 4年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	杉並区実行計画に基づき着実に整備を進めるために、施設建設が可能な公有地の確保に努めます。また、民間力の活用を図るため、グループホームの理念や補助制度について、土地所有者や事業者等に的確に伝えるよう一層、周知に努めていきます。 併せて、既存施設への支援も必要に応じて行っていきます。	

令和 3年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00230)

事務事業名称	介護老人保健施設の建設助成				款 04	項 01	目 07	事業 003	整理番号	236
現担当課名	高齢者施策課	係名	施設整備推進担当係			連絡先電話番号	3282	昨年度整理番号	235	
上位施策No・施策名	15 要介護高齢者の住まいと介護施設の整備						予算事業区分	既定事業		
事業開始	平成14年度	実行計画事業	目標 04	施策 15	計画事業 01					
令和 2年度担当課名	高齢者施策課						事業評価区分	一般		

令和 2年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	介護老人保健施設を区内に建設する医療法人等	根拠法令等 (1) (2)	介護保険法第8条第25項 杉並区介護老人保健施設整備費補助要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	リハビリテーション、看護、介護等の医療的ケアと日常生活上のサービスを併せて提供することにより、高齢者の自立を支援し、家庭復帰と在宅ケアを目指すことができるようにする。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	区内老人保健施設整備床数 (累計)
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	介護老人保健施設等を区内に建設する医療法人等に対して、建設費の助成及び独立行政法人福祉医療機構からの借入金の償還助成を行う。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	介護老人保健施設整備率 介護老人保健施設定員数を高齢者人口で除した割合

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 床	418	418	418	418	418	418	100.0	99.0
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3 %	0.35	0.36	0.36	0.36	0.36	0.36	100.0	
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	17,599	19,089	15,608	17,898	17,727	19,870	特記事項	
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	令和2年度は介護老人保健施設シーダウォーク及び老健くぬぎの借入金償還助成において区民利用率が上昇し補助率が100%に近い数値となったことから、前年度より事業費が増えています。	
(内) 委託費	7 千円	0	0	0	0	0	0		
職員数	8 人	0.00	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10		
上記以外の職員	9 人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00		
人件費	10 千円	0	843	872	872	850	850		
上記以外の職員	11 千円	309	309	308	308	363	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	17,908	20,241	16,788	19,078	18,940	20,720		
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13 円	42,842	48,423	40,163	45,641	45,311	49,569		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0	0	
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	17,908	20,241	16,788	19,078	18,940	20,720		
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

令和 3年度杉並区事務事業評価表（2）

令和 2年度 事業実施状況（D o）

整理番号 236

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	介護老人保健施設建設等助成		2	所
	その他（ ）			
事業実績	区内2施設の事業者が独立行政法人福祉医療機構から借り入れた建設費に対し、区民利用率に応じて償還助成を行いました。			

令和 2年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	区内における後期高齢者（75歳以上の高齢者）人口は、平成14年1月1日38,576人、令和3年1月1日64,182人と増加の一途を辿っています。また、要介護認定者数もそれに比例し、平成20年度末には14,968人であったところ、令和2年度末には24,999人と増加しています。 要介護高齢者が在宅生活を継続していくためには、リハビリテーションを主体とし、自宅への復帰を支援する施設である介護老人保健施設の役割が大きくなっています。
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	介護老人保健施設を整備する医療法人等に建設費の一部助成を行うことにより、区民の入所床数を確保しています。今後、既存の施設を含め、要介護高齢者の在宅生活への復帰及び継続のため有効な活用が課題となっています。
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	整備計画に基づく目標値は達成しており順調です。今後も引き続き適切に対応していきます。
評価と課題	介護老人保健施設を整備する医療法人等に建設費の一部助成を行うことで、区民が安心して在宅復帰を目指す施設の安定的な運営の支援とともに、区民の入所床数を確保することができました。今後も引き続き区民の利用状況に合わせて助成を続けます。

令和 4年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	今後も引き続き区民の利用状況に合わせて、建築費用の助成を行っていきます。	

令和 3年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00232)

事務事業名称	特別養護老人ホーム等用地整備				款	04	項	01	目	07	事業	015	整理番号	238
現担当課名	高齢者施策課		係名	施設整備推進担当係			連絡先電話番号	3282		昨年度整理番号	237			
上位施策No・施策名	15 要介護高齢者の住まいと介護施設の整備								予算事業区分	投資事業				
事業開始	平成21年度	実行計画事業	目標	04	施策	15	計画事業	01						
令和 2年度担当課名	高齢者施策課								事業評価区分	一般				

令和 2年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	特別養護老人ホームに入所を希望している高齢者及びその家族	根拠法令等	(1) 老人福祉法第15条 (2) 介護保険法第86～93条
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	介護が必要な高齢者が、必要に応じて特別養護老人ホームに入所し、適切な介護が受けられるようにする。要介護者の施設入所により、家族の介護負担が軽減されるようにする。	活動指標	区内特別養護老人ホーム施設数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	特別養護老人ホームの建設が円滑に進むよう整備予定地の測量や既存建物の解体等、事前の用地整備を行う。新たに施設整備が可能な用地を確保する。	指標名 (1)	
		指標説明	
		指標名 (2)	
		指標説明	
		成果指標	特別養護老人ホーム確保定員
		指標名 (1)	
		指標説明	杉並区民が優先的に入所可能な定員数
		指標名 (2)	区内特別養護老人ホーム整備率
		指標説明	区内特別養護老人ホーム定員数を高齢者人口で除した割合

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 所	19	21	21	22	22	23	100.0	97.7
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3 人	1,963	2,136	2,136	2,220	2,220	2,400	100.0	
成果指標 (2)	4 %	1.43	1.55	1.58	1.64	1.64	1.82	100.0	
事業費	5 千円	6,526	73,054	64,967	9,966	9,732	0	特記事項 令和元年度は天沼三丁目区有地において旧荻窪税務署解体工事があったことから事業費が大幅に増加していましたが、令和2年度は工事がなかったため事業費が減となっています。	
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0		
(内) 委託費	7 千円	6,526	73,054	64,967	5,876	5,642	0		
職員数	8 人	0.19	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10		
上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	10 千円	1,601	843	872	872	850	850		
上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	8,127	73,897	65,839	10,838	10,582	850		
単位当たりコスト (12÷1)	13 円	427,737	3,518,905	3,135,190	492,636	481,000	36,957		
財源	14 千円	0	0	0	0	0	0		
受益者負担分	15 千円	0	0	0	0	0	0		
国からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
都からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
その他の補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (14+15+16+17)	19 千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (12-18)	20 千円	8,127	73,897	65,839	10,838	10,582	850		
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

令和 3年度杉並区事務事業評価表（2）

令和 2年度 事業実施状況（Do）

整理番号 238

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	天沼三丁目区有地民地境界線復元作業委託		1	式
	天沼三丁目区有地地中埋設物撤去費用負担金	1	式	4,090
	和泉一丁目特養擁壁改修工事	1	式	5,156
	その他（ ）			
事業実績	<p>天沼三丁目特養整備にあたり、隣接する民地との境界標が消失していたためこれを復元したほか、同地において地中から発見された埋設物の撤去作業を行いました。</p> <p>また、和泉一丁目区有地の残存擁壁について、強度を確保するため改修工事を行いました。</p>			

令和 2年度 評価と課題（Check）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	<p>区内における高齢者人口（高齢化率）は、昭和60年1月1日現在53,365人（10.2%）でしたが、令和3年1月1日現在は120,139人（率20.95%）と増加し、今後もさらに増加すると見込まれています。</p> <p>一方で、特別養護老人ホームの施設入所希望者は平成24年度末では1,944人でしたが、令和2年度末は645人になり、減少傾向にあります。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>平成24年度以降積極的に特別養護老人ホームの整備を進めたこともあり、令和3年12月に開設予定の天沼三丁目（仮称）ウェルファーム杉並の完成を持って、当面の間緊急性の高い入所待機者は生じない見込みとなりました。今後は申込者数等需要の動向を踏まえつつ、計画的に整備予定地を確保していきます。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>順調に、計画どおり施設の整備を進めることができています。</p>
評価と課題	<p>天沼三丁目複合施設の整備を進めるにあたり、工事中発見された地下埋設物の撤去を行いました。今後も同様に、新規の整備計画以外にも既存施設に係る対応が発生する可能性があるため、事業者及び関係機関と調整を図りつつ事業を進めていきます。</p>

令和 4年度の方針（Action）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>既存施設からの用地に関する相談に適切に対応していくとともに令和3年度に実施する特養待機者需要推計の結果に基づき、必要に応じて今後の整備計画を検討していきます。</p>	

令和 3年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00234)

事務事業名称	都市型軽費老人ホームの建設助成				款 04 項 01 目 07 事業 024	整理番号	240	
現担当課名	高齢者施策課	係名	施設整備推進担当係		連絡先電話番号	3282	昨年度整理番号	239
上位施策No・施策名	15 要介護高齢者の住まいと介護施設の整備				予算事業区分	既定事業		
事業開始	平成22年度	実行計画事業	目標 04	施策 15	計画事業 03	主要事業 (区政経営報告書掲載事業)		
令和 2年度担当課名	高齢者施策課				事業評価区分	一般		

令和 2年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	都市型軽費老人ホームを建設・運営する社会福祉法人、民間企業及び土地所有者等	根拠法令等 (1) (2)	社会福祉法第2条第2項第3号、老人福祉法第15条第5項 杉並区都市型軽費老人ホーム整備費補助金交付要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	身体機能の低下等により自立した日常生活を営むことについて不安があり、家族による援助を受けることが困難な高齢者が、低額な利用料で入所でき、日常生活における支援を受けながら生活できるようにする。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	都市型軽費老人ホーム整備定員数 (累計)
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	社会福祉法人、民間企業及び土地所有者等が整備する都市型軽費老人ホームに対し、整備費の一部を補助する。都市型軽費老人ホームを建設・運営する民間事業者等に対し、円滑な施設の開設を支援するために、開設準備に要する経費の一部助成を行う。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	都市型軽費老人ホーム整備率 都市型軽費老人ホーム定員数を一人暮らし高齢者人口で除した割合

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 人	40	60	60	80	60	100	75.0	特記事項 令和元年度は桃井二丁目整備計画に対し整備費補助を行いました。令和2年度は、事業者からの提案はあったものの補助条件を満たさなかったことから整備着手に至らず、前年より大幅な減となっています。
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3 %	0.09	0.14	0.14	0.18	0.14	0.23	77.8	
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	8,582	88,300	87,668	250	96	188		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0		
(内) 委託費	7 千円	0	0	0	84	44	84		
職員数	8 人	0.35	0.30	0.30	0.30	0.20	0.30		
上記以外の職員	9 人	0.20	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00		
人件費	10 千円	2,949	2,528	2,615	2,615	1,701	2,551		
上記以外の職員	11 千円	618	309	308	308	363	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	12,149	91,137	90,591	3,173	2,160	2,739		
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	303,725	1,518,950	1,509,850	39,663	36,000	27,390		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0	
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0	
	都からの補助金等	16 千円	8,582	87,200	87,600	0	0	0	
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	8,582	87,200	87,600	0	0	0	
	差引：一般財源 (12-18)	19 千円	3,567	3,937	2,991	3,173	2,160	2,739	
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

令和 3年度杉並区事務事業評価表 (2)

令和 2年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 240

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	選定委員会開催に伴う委員報酬の支出	1	回	52
	事業者選定に伴う財務分析委託	1	所	44
	その他 ()			
事業実績	梅里一丁目において、民間事業者による都市型軽費老人ホームの併設施設の提案があり、施設による良質なサービスが提供されるよう、介護基盤施設整備運営事業者選定委員会を開催し、事業計画の審査を行いました。			

令和 2年度 評価と課題 (C h e c k)

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 (期待・要望・苦情など)	<p>一人暮らし高齢者、65歳以上生活保護受給者が増えています。</p> <p>一人暮らし高齢者数は平成22年1月1日34,045人、令和3年1月1日42,676人、また、65歳以上生活保護受給者は平成22年7月1日2,983人、平成29年7月1日4,037人と増加の一途を辿っています。</p> <p>このことから、低額で利用できる介護施設や住まいの需要は高まると考えます。</p>
事業の今後 (3~5年) の予測と方向性	<p>区内における高齢者人口は、今後もさらに増加することが予測されます。これに伴い、自立した日常生活に不安がある一人暮らし高齢者も今後増加することが見込まれます。</p>
計画 (目標値) に対する実績 (指標の分析等)	<p>民間事業者による整備計画の提案が1件ありましたが、補助対象の条件に満たなかったことから見送りとなりました。</p> <p>他事業者からも複数相談があったものの、コロナ禍の影響により人材確保や経営の安定性が不安だとして提案までは至らず、令和2年度は目標を達成できませんでした。</p>
評価と課題	<p>今後も低所得で日常生活の支援を必要とする高齢者の増加が見込まれることから、一層の整備を促進する必要がある一方で、コロナ禍を理由とした財政上の不安や人材確保の困難さ等から、整備を進める事業者が少ないのが現状です。</p> <p>土地所有者や運営事業者に対し社会福祉事業への理解が得られるよう、整備費の補助制度以外にも都や国が実施している運営支援制度についても周知していきます。</p>

令和 4年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>杉並区実行計画に基づき、着実に整備を進めるために、土地所有者や運営事業者に対して、オーナー創設型や改修型の補助制度のきめ細やかな周知等を図り、事業への理解を得ていくことで整備を促進していきます。</p>	

令和 3年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00236)

事務事業名称	小規模多機能型居宅介護事業所の建設助成				款 04 項 01 目 07 事業 086	整理番号	242	
現担当課名	高齢者施策課	係名	施設整備推進担当係		連絡先電話番号	3282	昨年度整理番号	240
上位施策No・施策名	15 要介護高齢者の住まいと介護施設の整備				予算事業区分	既定事業		
事業開始	平成22年度	実行計画事業	目標 04	施策 15	計画事業 02	主要事業 (区政経営報告書掲載事業)		
令和 2年度担当課名	高齢者施策課				事業評価区分	一般		

令和 2年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	小規模多機能型居宅介護事業所及び看護小規模多機能型居宅介護事業所を建設・運営する民間企業、社会福祉法人等	根拠法令等 (1) (2)	介護保険法第8条第19項 杉並区地域密着型サービス拠点等整備費補助金交付要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	介護を必要とする高齢者が、通所サービス・宿泊サービス・訪問介護 (看護) サービスを受けることにより、引き続き住み慣れた自宅や地域の中で24時間365日、安心して暮らすことができる。 介護している家族の負担を軽減する。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	(看護) 小規模多機能型居宅介護事業所定員数 (累計)
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	民間企業、社会福祉法人等が整備する小規模多機能型居宅介護事業所及び看護小規模多機能型居宅介護事業所の整備費の一部を補助し、当該施設の整備を図る。 小規模多機能型居宅介護事業所及び看護小規模多機能型居宅介護事業所を建設・運営する民間事業者等に対し、円滑な施設の開設を支援するために、開設準備に要する経費の一部助成を行う。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	(看護) 小規模多機能型居宅介護事業所整備率 (看護) 小規模多機能型居宅介護事業所定員数を高齢者人口で除した割合

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	平成30年度	令和元年度		令和 2年度		令和 3年度	令和 2年度	令和 2年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 人	215	356	331	414	306	472	73.9	98.9
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3 %	0.18	0.29	0.28	0.34	0.25	0.39	73.5	
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	185,397	217,511	216,871	77,619	76,746	51,187	特記事項 前年度より補助対象事業が減っているため、事業費が大幅に減となっています。(令和元年度: 5か所、令和2年度: 1所)	
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0		
(内) 委託費	7 千円	0	0	0	0	0	0		
職員数	8 人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20		
上記以外の職員	9 人	0.00	0.20	0.20	0.20	0.20	0.00		
人件費	10 千円	1,685	1,685	1,744	1,744	1,701	1,701		
上記以外の職員	11 千円	0	618	616	616	726	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	187,082	219,814	219,231	79,979	79,173	52,888		
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	870,149	617,455	662,329	193,186	258,735	112,051		
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	144,329	145,522	170,223	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	144,329	145,522	170,223	0	0	0	
差引: 一般財源 (12-18)	19 千円	42,753	74,292	49,008	79,979	79,173	52,888		
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

令和 3年度杉並区事務事業評価表（2）

令和 2年度 事業実施状況（D o）

整理番号 242

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	小規模多機能型居宅介護事業所簡易陰圧装置設置補助	1	所	23,283
天沼三丁目区有地看護小規模多機能型居宅介護整備費補助	1	所	53,463	
	その他（ ）			

事業実績

天沼三丁目区有地の事業者に対し、工事出来高に応じて建設助成を行いました。
また、宮前二丁目の事業者に対し、新型コロナウイルス感染症対策として、居室内のウイルス拡散防止に有効な簡易陰圧装置の設置費用の一部を補助しました。

令和 2年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	区内における後期高齢者（75歳以上の高齢者）人口は、平成14年1月1日現在38,576人であったところ、令和3年1月1日現在で64,182人と増加の一途を辿っています。 在宅介護を支えるため、身近な地域で通所、宿泊、訪問介護（看護）の各種サービスが受けられることが求められています。
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	区内における後期高齢者人口は、年々増加すると予測されます。それに伴い、高齢者の状況にあった各種サービスの需要が高まることが予想されます。
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	累計定員数・当該年度の整備計画数ともに目標に到達していない状況です。比較的地価の安い区南西部に事業所が集中していることもあり、人材難を理由に撤退する事業者がいました。 民間事業者による事業提案の募集は続けていきますが、今後は地域バランスを考慮し事業者の募集を行っていきます。
評価と課題	久我山一丁目都有地を活用した、認知症高齢者グループホームと障害者施設との複合施設計画については、公募に対して応募がなかったことから、障害者施設の整備を優先することとし、（看護）小規模多機能型居宅介護を含む高齢者施設の整備は見送ることになりました。（看護）小規模多機能型居宅介護は、高齢者や家族にとって、在宅介護を継続するための有効なサービスですが、単独での安定的な事業運営が難しいことから民間事業者の参入が進まない状況です。 事業者等に対して認知症高齢者グループホームや都市型軽費老人ホーム等との併設を提案していくとともに、補助制度等の情報提供を行うことで施設整備を進めていきます。

令和 4年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	杉並区実行計画に基づき、着実に整備を進めるために、特別養護老人ホーム等との併設施設への建設助成を行います。東京都の補助制度等を効果的に活用することや、グループホーム等他施設との併設を促すなど、事業者が安定した運営ができるよう方策を検討します。また、事業者及び土地所有者に対して、施設の理念や補助制度が的確に伝わるよう、一層、周知を図るとともに、地域バランスを考えた整備を進めていきます。	